

北海之光

2月号 北海道教区報

わたしがここにおります
 わたしを遣わしてください
 イザヤ書6章8節

発行所 北海の光社
 001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12
 日本聖公会北海道教区事務所
 電話 011-717-8181
 F A X 011-736-8377
 E-mail:hikari@nssk-hokkaido.jp
 http://www.nssk-hokkaido.jp
 発行人 植松 誠

―天が裂けて―

平取聖公会・新冠聖フランシス教会
 司祭 パウロ 内海 信武

毎朝、祈りの前に鐘を鳴らす時に空を仰ぎ見ます。「ああ、今日も一日、天上からわたしたちを見守っていてください」と、祈ります。高い建物に遮られることのない日高では、大空が開かれています。

「天が裂ける」とは詩的なイメージがなく、むしろ物理的な空間としての天と同様に、あるいはそれ以上に確かな現実なのだ、と思えるのです。

また、国道を通って新冠へ向かう時などは、太平洋上にかかった雲間から、ヤコブのしごが降り注ぐのを見ると「あなたの指の業の大空を仰ぎ」という交読詩篇八編三節の言葉を思い浮かべます。

本年最初の主日・一月七日(顕現後第一主日・主イエス洗礼の日)の福音はマルコによる福音書一章七節―一節でした。ここでは、イエス様がヨハネから洗礼を受けられたことが語られます。そして、イエス様が水から上がる

現代人は物理的な空間としての天だけを見て、その背後には目をつむる傾向を持っている、と言えましょう。ここでは物理的な空間としての天だけが真の現実であり、「天が裂ける」といった表現は詩的な表現に過ぎないし、劣った現実だとされがちです。でも、聖書の民にとって「天

と「天が裂けて、聖霊と天からの声が降った」ことが語られます。ここで、イエス様が洗礼を受けられたことが客観的な出来ごととして語られているのは明らかでありましょう。しかし、「天からの啓示」は、はたして誰の目にも見ることでできた客観的な出来ごとであったのでしょうか？

うか？それとも、イエス様だけがご覧になった幻であったのでしょうか？

マタイ、ルカの並行記事を見てみますと、この「洗礼と天からの啓示の出来ごと」は民衆も目撃した客観的な事柄である」と思わせるのに十分な記述となっています。それに対して、マルコの記述は「天からの啓示はイエス様だけがご覧になった幻である」と理解していた、と言えそうです。

です。ですから、マルコはこの情景が「イエス様の心に繰り広げられたものであり、それによってイエス様の自己理解が深められたのだ」と言っているのではないのでしょうか？つまり、「天からの啓示」はイエス様に向けられた父なる神様からのしるしであって、民衆にイエスが誰であるかを示すところのしるしではない、と言うことでありましょう。

「天からの声」の記述の背景には、当日の第一朗読イザヤ書四二章一―四節があります。イザヤ四二章は、神様がその救いと教えを地の果てに

知らせるために「主の僕」を立て、霊を授けて、あらゆる困難を克服する力をお与えになったことを述べています。この引用は、イエス様を「主の僕」と結び付けています。イザヤの述べる「主の僕」は民の罪を背負って死ぬように、イエス様も十字架に死ぬことになりました。ヨルダン川での洗礼はゴルゴタの丘の前触れなのであります。「洗礼」は(マルコ一〇・三八「この杯を飲み、わたしの受ける洗礼を受けることが出来るか?」)との用例にあります。すように、十字架の死を表すこともあるのです。「主の僕」は民に代わって死ぬ僕であります。

ゆえに、主イエスが宣教のはじめに洗礼をお受けになられたのは「主の僕」としての霊をお受けになってその任務を果たされるためでありました。そしてさらに、現代に生きるわたしたちが受ける洗礼を聖化するためでありました。

—心の窓をひらひら—

福音と私(二二三)



— 今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか —

帯広聖公会信徒

マーガレット 近藤 幸子



【好きな聖句】

希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。

(ローマの信徒への手紙 二二章二節)

お生まれになってから、これまでですが？

大正一四年に札幌で生まれしました。父親が札幌の南一条西五丁目で証券会社を経営していたのですが、八歳までに両親を共に亡くしました。それで、母方の祖母の許で育てられました。祖母の吉井静は八男五女の子があり、母はその三女でした。祖母はとても厳しい人で、家では聖歌以外は歌わせてもらえませんでした。

た。ですから今でも毎日聖歌を五曲は歌っています。

楽しい事といえば、北星女学校の土曜学校で歌を歌うことと、叔父に連れられて行った札幌聖公会の日曜学校

側にあつた丸井記念館で開かれたクリスマス会がとても楽しかった記憶があります。札幌聖公会で長沢先生から洗礼を受けました。

結婚も札幌でした。伯母から勧められたと思うのですが、お見合いをしたものの、返事をしない内に話が進んで行って決まってしまうました。

昭和二八年だったと思います

すが帯広に転居してきました。暫くは教会へは行けませんでした。ところが我が家の二階に住んでおられた方の居間に祈祷書があつたのです。

思わず「懐かしいですね」と言いましたら「聖公会の信徒さんだったのでか、教会へ行きましょう」と誘われ帯広の教会へ行くようになりました。

た。堅信を受けたのも帯広聖公会で、渡辺主教さま、遠藤喬牧師さまでした。

教会では、婦人会のお仕事が好きで針金ハンガーを細工する等は得意でしたよ。それに幼稚園での調理奉仕はととても好きでしたね。

夫のルカ英利は教会には一緒に来ていたものの未信徒のままでした。しかし平成一年に洗礼・堅信をうけました

が平成二六年四月に召されました。現在、子どもは六人、孫が二人、ひ孫が一〇人、玄孫が一人です。

現在はお通り

現在はお通り

夫の死後、住まいを現在の施設に移しました。教会には遠くなりしましたが教会の方々が時折、迎えに来てくださるのでとても嬉しいのです。李司祭さまがおられた時には毎週来てくださって聖餐のお恵みを受けることが出来ましたので幸せでした。

この施設はとても広いのですが、その施設内を毎日一〇周しています。更に初めにもお話ししましたが聖歌を最低でも五曲は歌っています。ここでは「お買い物の日」があつて、近くの大型スーパーに施設のバスで行くのが楽しみでもあります。

これまでも振り返られると？

幼くして両親と死別し、辛い時期もありましたが、多くの方々にも助けられた事がとても多くあり感謝です。今でも従姉妹や知人からの手紙等で

気がかけて下さっていることがあり重ねて感謝で幸せです。ですから、好きな聖句と問われると、冒頭の箇所がその気持ちをそのまま表わしています。

(ご本人からのお話しをまとめたものです)

東日本大震災

七年目の祈り

二〇一一年三月十一日に発生した東日本大震災から今年で七年目になります。

東北教区では、この日を大切に覚え、各教会の主日礼拝において祈りが捧げられます。

また、震災発生時刻を挟んで「午後二時四六分の黙想」が教区内の一二教会で捧げられる予定とのことです。

私たちもこれらのことを覚え、祈りを捧げたいものです。

北海の光編集委員 久慈記

常置委員会報告

第三回 一月二日

《協議事項》

一、信徒奉仕者推挙の件
 ・各教会より推薦された信徒奉事者を推挙する事とした。

二、第三回外国人住民基本法の制定を求めるキリスト者全国集会への協力の件

・教区として具体的な協力の内容について決定した。

三、稚内聖公会の件

・現況について報告を受ける

と共に、今後について、様々な可能性を検討していく事を確認した。

四、厚岸聖オーガスチン教会の件

・現況について報告を受けると共に、今後について様々な



主教室より

我が家では子どもたちが幼いころ、寝る前に妻がよく絵本の読み聞かせをしていました。絵本というのは内容によっては子どもだけではなく大人も考えさせられるものです。「ジオジオのかんむり」という絵本はライオンの話でした。ライオンたちの中でも最も強く勇ましいライオン「ジオジオ」は立派な冠をかぶっていました。

勇敢で皆から一目置かれていたジオジオ。けれども、だんだんと年を取り、獲物を追いかけることもできなくなり、頭は白くなり、目も見えなくなってきました。それまで味わったことのない孤独を感じるよ

うになったジオジオは、誰かとゆつくり話をしたくなるのです。そこにやってきたのは卵を盗まれた親鳥でした。ジオジオは自分の冠の中に卵を産むことを提案。鳥は冠の中に卵を産み、ジオジオはそれを落とさないように、雨風にも当たらないように木の茂みに座り、そつと守ります。

やがて雛が孵り、その雛たちはジオジオのたてがみを引っ張ったりして遊びます。強さも、立派さも失っていくみじめなジオジオですが、小鳥と戯れるという、そして何かを守るといふ今まで考えもしなかった幸いを見出すのです。

つまた一つと失います。健康を失うこと、親を失うこと。伴侶や子どもを失うという残酷なことも起こります。そして、何かを失うごとに、そこには優しさが芽生えていくように思えます。年月という抗うことのできない営みの中で、人は大切にしてきたものを一つ一つ失いつつ、その代り、それまでは考えもしなかった、本当に大切なものを自身の身に帯びていくのではないのでしょうか。失っていくもの、始めから欠けていたもの、残酷とも見えるそれらは、思い直せば、人生を真に豊かに送るための創造主から与えられた、神さまの領域ではないかと思うのです。

主教 ナタナエル 植松 誠

堅信式受領 おめでとう

- 札幌聖ミカエル教会
- スザンナ 原田 美和
 - グレース 渡部 由衣
 - フランシスコ 深瀬 隆利
 - フランチェスカ 織田 美子
 - サムエル 織田 琉杜

(二月二四日)



十 教区逝去教役者 記念聖餐式

三月二四日(水)

午前一〇時三〇分

於 主教座聖堂

次の方々を覚えて祈ります。

司祭 遠藤 喬

一九八九年三月二日

伝道師 水科 五郎

一九九二年三月七日

司祭 ベヴァレー・D・タッカー

二〇〇七年三月一〇日

伝道師 西村 ヒサ

一九二三年三月一六日

伝道師 フローレンス・E・カーゲナー

一九七〇年三月一七日

司祭 ウィリアム・A・リーブ

一九六六年三月一八日

司祭 吉川 孝

二〇一二年三月一八日

司祭 岸本 隆一

一九五三年三月二六日

伝道師 グレース・S・ステイブリン

一九四二年三月二九日

伝道師 中村 熊次郎

一九四九年三月三〇日

司祭 ジョージ・C・ニベン

一九五一年三月三〇日

伝道師 H・アンデレス

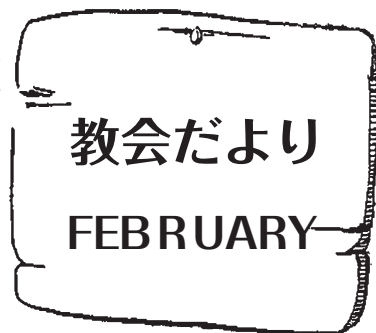
一九一八年三月三〇日

2018年度 教区役員一覧表

日本聖公会 北海道教区
2018年1月1日現在

委員(部)会名	選出者	長	委員・部員名
常置委員会	教区会	司祭 大町信也	司祭 広谷和文、司祭 池田 亨 津田武典、尾関敏明、沖田京子(書記)
教区審判委員	教区会	教区主教	司祭 下澤 昌、司祭 木村夕子、遠藤淳治、 久慈吉雄
会計監査委員	教区会	能登 裕	木島嘉子
教区ハラスメント 防止委員会	常置委員会	志賀 直信	糸田正博、山本雅之
管財委員会	常置委員会	久末 隼一	
建築融資金委員会	常置委員会	津田 武典	教区事務所主事、財政部長、財政部チャプレン
I T 委員会	常置委員会	司祭 下澤 昌	司祭 吉野暁生、司祭 永谷 亮、 横山光紀
北海道 M T S	常置委員会	司祭 吉野暁生	司祭 大町信也、芥川修旨、柴山富美子、 糸田正博
礼拝委員会	常置委員会	司祭 松井 新世	丸山悦子、鈴木かほる
教区事務所	常置委員会	主事 司祭 下澤 昌	副主事 山崎典美 書記 夏堀恭子、 吉田美喜子(2月より)
宣教活動推進部	常置委員会	尾関 敏明	司祭 飯野正行、司祭 池田 亨、司祭 木村夕子、 司祭 吉野暁生、司祭 広谷和文、司祭 大町信也、 司祭 永谷 亮、聖職候補生 上平 更、佐藤忠志、 直井 岳、久末隼一、福富牧子、宮本道子、小 澤暢子、津田武典、丸山悦子、矢部幸子、山崎 典美、高橋 愛
財政部	常置委員会	松原 俊彦	松下孝広、橋本知樹、横山光紀
神学生養成委員会	常置委員会	荒木 道郎	服部幸子、今村 隆、夏堀ヒロ子、千田 忍
歴史文書保管委員会	常置委員会	下田 尊久	司祭 池田 亨、山本修嗣、佐藤さつき
北海の光編集委員会	常置委員会	司祭 池田 亨	丹 政清、佐藤さつき、山崎恒子、久慈吉雄
教区礼拝実行委員会	常置委員会	津田 武典	
分区長 道 央		司祭 大町 信也	
〃 道 南		司祭 吉野 暁生	
〃 道 東		司祭 松井 新世	
〃 道 北		司祭 広谷 和文	
聖職養成委員	教区主教	司祭 下澤 昌	司祭 大町信也
聖職試験委員	教区主教	司祭 大町 信也	司祭 広谷和文、司祭 池田 亨、司祭 下澤 昌
教役者子弟育英資金	教区主教	教区主教	財政部長、教区事務所主事、秋江申夫、 川合明子
主教座聖堂		教区主教	常置委員、札幌キリスト教会牧師、 同教会委員会

委員(部)会名		選出者	長	委員・部員名
	チャプレン教区婦人会	教 区 主 教	司祭 池田 亨	
	〃 財 政 部		司祭 下澤 昌	
	〃 青 少 年		司祭 永谷 亮	
	〃 G F S		司祭 木村 夕子	
管 区 関 係	日本聖公会代議員	教 区 会		司祭 永谷 亮、司祭 大町信也、尾関敏明、津田武典
	日本聖公会常議員	管 区 総 会		主教 植松 誠、司祭 大町信也
	祈祷書改正委員会	常 議 員 会		司祭 永谷 亮
	教理礼拝組織調査員	主 教 会		司祭 広谷和文
	管 区 審 判 廷	管 区 総 会		司祭 下澤 昌
	聖公会保育連盟	教 区 主 教		矢部幸子
管 区 諸 委 員 会 教 区 連 絡 担 当 者	青 年 委 員 会	常 置 委 員 会	聖職候補生 上平 更	
	正義と平和委員会		司祭 大町 信也	※原発問題プロジェクト 尾関敏明
	人権問題担当者		司祭 広谷 和文	
教 区 関 係 団 体	NPO法人ファミリーサポート聖十字広場		理事長 大友 正幸	
	社会福祉法人 聖公会北海道福祉会		理事長 植松 誠	理事 大友正幸、下澤 昌、山崎恒子、矢部幸子、高橋久美子 監事 久慈吉雄、高田鎮通
	学校法人 聖公会北海道学園		理事長 植松 誠	理事 渡部良子、鈴木典明、阿部芳克、大友正幸、遠藤淳治、広谷和文 監事 能登 晟、鏡谷光司
教 区 協 力 団 体	教 区 婦 人 会		会 長 津川 朋子	
	教 区 G F S		支部長 小澤 暢子	
	マ ル タ 会		主 事 司祭 下澤 昌、夏堀恭子、吉田美喜子(2月より)	
他 協 力 団 体	ホ レ ン コ 幹 事		司祭 池田 亨、須田 潔、横山由紀子	
	北 海 道 外 キ 協		司祭 大町信也、司祭 池田 亨	
	刑 務 所 教 誨 師		司祭 松井新世、司祭 吉野暁生、司祭 藤井八郎、司祭 飯野正行、司祭 上平仁志	



▽新冠^{にいかつぶ}聖フランシス教会

一月一四日(顕現後第二主日)、本年最初の主日礼拝でした。今年から原則第二、第四主日が礼拝日となります。

教会委員には小竹、小泉、熊谷の各兄と佐々木、三浦、下川の各姉の六名が選出されました。

二八日(顕現後第四主日)の聖餐式には、植松主教さまと三千代夫人が急遽お出でくださり、礼拝後の「堅信受領者総会」にも管理牧師としてご臨席くださいました。お祖母さま(松本ジョウ伝道師)と当地との係わりを伺い、一同感銘を受けました。

▽岩見沢聖十字教会

元旦、一家族三名で礼拝を

お捧げする。世の多くの人は神社にて初詣。真の神はそこにはおりません。一人でも多くの方がイエス様を救い主として受け入れて欲しいと願う。この日は岩見沢と美唄が合併して二年目の記念すべき日。

一四日、毎月第二主日は、石坂みゑ子司祭司式による聖餐式。礼拝後の愛餐会は、司祭も信徒も楽しみな一時。

二八日、定期堅信受領者総会。活発に意見が交わされる。旧両教会が一つになった事を実感する。教会も少子高齢化。勝負の年である。

▽有珠^{うしづ}聖公会

一月七日、今年最初の礼拝。聖堂に向かう丘を雪踏みしめて登る日曜日となりました。新たに備えるべく準備中のパチラー夫妻記念堂の四季の絵はがき集に、冬景色の一枚を加える事ができました。

礼拝後のお茶の時間、豊富な話題の中に、新しい年の希望を分かち合いました。帰り道、聖堂を見上げると、暮れ

なずむ空を、白鳥が空高く有珠山方向に飛んで行きました。教会の営みも、信徒の生活もまた、神の創造による大自然に抱かれてある事を改めて思いました。

▽釧路^{あつけし}聖パウロ教会

▽厚岸^{あつし}聖オーガスチン教会

この度の現在堅信受領者総会で、教会委員に荒井めぐみさん、信徒代議員に前田博美さんが新たに選出され、新たな信徒数名を加えての新たな船出です。加えて一月七日に

厚岸聖オーガスチン教会より佐田菊男さんを迎えました。教会独自の献金「特別伝道献金」も当分の間継続に。

一〇日、オリーブ会新年会がキャッスルホテルにて(中華)、一五日、市内牧師会が

当教会にて、開かれました。司祭の働き故「み言葉の礼拝」が増えましたが、時に信徒奉事者でない方々も奉仕してまいります。信徒力が増してきました。

既に函館に転居された林純子さんの教籍を厚岸から函館

聖ヨハネ教会に送りました。

▽小樽聖公会

昨年の大晦日は二〇一七年最後の主日でもありました。一年の終わりを教会の礼拝、聖餐式で終えることができ感謝です。

翌日の元旦は主イエス命名の日。この日も年のはじめを

教会で迎えることができ、聖餐式後は皆で雑煮をいただきながらゆったりと歓談のときが持たれました。お正月数日

間の小樽は近所の方も口々に驚くほどの穏やかな天候。教会のドア越しに見える、水天宮へ詣でる一人ひとりのためにも小さな祈りをささげつつ、教会のドアが今年はより一層地域へ開かれますようにと祈りました。

▽帯広聖公会

厳冬の十勝ですが、幼稚園の子どもたちは、立派に完成したリンクで、元気に駆け回っています。今年は新しく船津三四郎兄、和田里美姉が委員に加えられ感謝です。一三日、婦人会総会と恒例の

新年会が賑やかに行われました。世界祈祷日、道東ブロックと行事が続きますが、尾関婦人会長を中心に今年も良き働き人となれますように。

永谷司祭、松井司祭始め、各教会の信徒の方々のお支えで礼拝が守られていることを深く感謝いたします。どうか今年もすべての教会が神様の愛に守られますように。

▽平取^{ひらとり}聖公会

「イランカラプテ」(アイヌ語でこんには)と平取町役場アイヌ施策推進課と教育委員会各部門は電話を受取りました。一八七九年(明治一二年)ジョン・パチラーにアイヌ語を教えたペンリウクさんは平取町の名誉町民ですが、一九〇三年(明治三六)に亡くなりまし

た。そのお墓から北海道大学医学部が遺骨を掘り出しました。現在も標本「びらとり一号」として保管されています。札幌キリスト教会信徒の土橋芳美さんの著書『痛みへのペンリウク』(草風館)に詳しく書かれています。一

読を。

▽紋別聖マリヤ教会

お正月が過ぎ一月も下旬を迎え寒さも厳しくなってきました。流水の到来が待たれる今日この頃です。幼稚園では一八日から三学期が始まり、子どもたちの元気な声がこだましております。二一日、当教会では堅信受領者総会が行われ、七人の信徒の人たちが集まり話し合われ、いつも休まない信徒たちなので今年も頑張りたいと思っています。寒さに向かっていますので身体にお気をつけられお過ごしください。

▽新札幌ニコラス教会

一日、植松主教司式・説教による聖餐式から二〇一八年開始。

一四日、アッシジ巡礼より戻られた雨宮寿子姉よりタウ十字をいただき、聖フランシスコの信仰に触れる。

一七日、マリア会(婦人会)を長く支えてくださったクララ新井田裕子姉逝去。一九日、二〇日の式には合唱やテニス

等様々な分野からご友人が集う。

先月から近隣の高校生たちが礼拝に出席する機会が増え、礼拝後の昼食を共にし若いエネルギーを得る。

▽札幌聖ミカエル教会

一年のはじめ、主イエス命名の日、四七名で聖餐式を守る。一四日主教巡回日、クリスマスに受洗した渡部由衣さん、深瀬隆利さん、織田美子さん、織田琉柱くん、昨年苦小牧から転入した原田美和さん五名の堅信式、原田篤生くんの堅信前初陪餐を行う。

おめでとうございます。

一七日、婦人会総会、新年会。会長が再選されて今年の歩みが始まる。幼稚園はみんな元気に三学期がスタート。

札幌聖ミカエル教会は、二年後には現聖堂献堂六〇周年、三年後には宣教七〇周年を迎えます。

祝福がありますように。

▽札幌キリスト教会

一月一日主イエス命名日・新年礼拝を捧げる。六日オー

ストラリア・リベリナ教区を訪問していた中高生・沖田真一君、宮本樹さん、服部優奈さんの三人と吉野公恵さんが帰国、七日笑顔で帰国報告。

一二日大町出さん・紗希さんご夫妻に男児晴希ちゃん誕生、おめでとうございます。

一三日マリア・アスタ滝沢佐和子さんご逝去、魂の平安を祈ります。二八日堅信受領者総会二〇一七年の私たちの教会をふり返り、新しい一年を希望を持って歩んでいけるよう祈りました。

▽旭川聖マルコ教会

一月七日恒例の持ち寄り新年会を開催しました。バラエティーに富んだご馳走を囲んで賑やかに新年を祝いました。

教会委員会において今年の信徒奉事者に大友崇、久末隼一、矢部幸子、山崎典美さんが推挙されました。

一月二二日にマリヤ川添

滋さんがご逝去されました。九七年のご生涯でした。魂の平安をお祈りいたします。

今年の被献日礼拝は二八日の主日礼拝の中で捧げられました。

頌栄保育園では二八日に「もちつき大会」が行われました。園児も保護者も楽しい時間を過ごしました。

▽留萌キリスト教会

穏やかな天候で新年を迎えました。今年も皆そろって元気に教会生活を送りたいと思います。

早速会計監査を行って総会準備を始めました。記録漏れの出費について記憶の細かい糸を必死に手繰り寄せること三時間。喜寿を迎えた会計担当者に感謝しきり。

集会室のストーブが不完全燃焼を繰り返すこと二回。強風と低温の影響だとされました。記録的な大雪と寒波を無事に乗り切れますように。

▽今金インマヌエル教会

一月一四日と二八日に礼拝を守り、その後、総会が行われました。様々な行事、問題点などを話しあい一日が暮れてゆきました。教会まわりの

改修、合同礼拝、婦人分区会札幌への薪運び：今年もまた歩き続けてゆきましょう。総

会が始まる前に、昨年の倒木の残がい達があちらこちらに集めてあるので、片付け作業と称して、雪のあるうちに燃やしてみようという話しになり、火を付けてみましたが、

ほほ燃える事もなく、私共の気持ちも不完全燃焼。もう少し雪が少なくなってから再挑戦という事で落ち着きました。その時は、ついでに焼き

いももという声も聞かれ、楽しみになっています。まだまだ植樹作業にも至らない、雪深いインマヌエルの丘でござ

▽稚内聖公会

一月二一日午後二時、二〇一八年最初の聖餐式は、道北分区協働の木村司祭が司式・説教の任にあたりました。

時々吹雪く天候の中、JRを乗り継いで訪れた稚内。水道管は凍結のため断水。お手洗いは使用できてホッと一息。やかに残されていた水

を沸かして本原満栄さんと二人、礼拝後のティータイムを語らう。昨年の大きな手術を乗り越えて与えられた現在の暮らしが、益々お恵みで満たされますように祈っています。

▽聖マーガレット教会

一月一日主イエス命名日聖餐式後、恒例のオザコンを行い、一四名の参加でした。七日、新旧合同委員会を開催、二〇日(土)には婦人会の総会と新年会を行い、新会長と新役員を決め、新会長は成田幸子姉となりました。当教会の活動力は婦人会、よろしくお願ひします。

二八日は、木村淳信徒奉事者の司式によりみ言葉の礼拝、三〇日、礼拝堂でペテロ石塚兄の逝去六ヶ月記念の祈りが行われました。

信徒総会に向けての資料作成、大変ご苦労さまでした。

▽深川聖三一教会

一月一日新年礼拝、主イエスの命名日を祝う。マリア岡本妙子さんの二日通夜の祈

り、三日葬送告別式、魂の平安をお祈りす。五日保育園の仕事始め。一日同所の職員会議、園長より非常食、物資の保管と備蓄状況の説明と質問応答。二一日総会へ向けての事業と決算予算案の審議をする。信徒代議員を自動的に教会委員に繰り入れる特別資格を協議す。二八日石坂司祭旭川へ出向す。今年は宣教開始二〇年、明治以来日本の戦争史を体験して来た教会史はまたも戦争のうわさに出会

▽函館聖ヨハネ教会

一月一日主イエス命名日、函館は穏やかな新年を迎える。林純子姉の教籍が厚岸から函館へ。新たな家族を得て大きな喜びに包まれる。七日、新旧教会委員、宣教部、聖歌隊による懇親会が行われ、話し合いの時間を分かちあう。二〇日、来月の総会に向けての資料印刷、製本。その後、

宣教部が開かれ、大斎節の持ち方、今年の教会活動などを話し合う。管区から大斎克

己献金が当教会の「函館聖ヨハネ教会宣教拠点強化計画」のためにお献げ頂くこととなる。

地域の宣教・伝道の強化に向け真摯に取り組みたい。

▽室蘭聖マタイ教会

新年を迎えて一月八日大町司祭による聖餐式より教会は始まりました。第二主日は吉野司祭が午後来教されました。室蘭はインフルエンザが流行しており信徒のなかにも罹患し体調を崩している人もいます。平均して年配者が多くなっており調べてみると平均八三歳でした。一月は雪も少なく駐車場の除雪も少なく助かることと隣の方が教会の分まで除雪して下さい感謝しています。

大町司祭が作って下さった教会案内を近所に配り教会を理解して貰えるよう努めています。

▽網走聖ペテロ教会

今冬一二月中旬から一月末日まで穏やかな日が続く雪も少なく楽な冬です。元旦礼拝

も少ない人数でしたが終えることができました。一四日礼拝後、教会委員会を開き新年度教会行事、会計予算、その他について協議をし、そして森谷会計担当委員から二九年度会計決算報告があり、当初の予算通り満たされたこと感謝します。二一日のみ言葉の礼拝では初めて教会委員に選出された、青柳姉があかしをしてくださいました。青柳姉の今後の働き、そして健康のためお祈りをお願い致します。

▽北見聖ヤコブ教会

「いやあ〜しばれるねえ」「ほんとにさあ〜」が会話の最初の言葉になっています。雪の量は今のところ多くはありません。

一月二一日(日)に新年の総会が行われ、互いの希望・抱負の中で「健康が守られて教会に来たい」「聖書の学びをしたい」「睦み合う教会であり続けたい」等の希望が分かち合われました。体調のすぐれない方々が多いのです

が、この祈り合い、労り合う姿はキリスト教共同体の核心であり、宣教の最前線の姿であることを覚えて欲しい。

▽苫小牧聖ルカ教会

一日主イエス命名の日礼拝は、司祭謹製のおせちを食べつつみんなでお祝い。新園舎の外側を覆っていた足場が取り払われ、外観が見渡せるようになりました。

司祭は青年担当者会議で韓国・済州島へ。天候悪化で帰国が一日遅れるアクシデント。

二七日は幼稚園のおもちつき会。たくさんのお園児たちが保護者の皆さんと、楽しくおもちつきをしました。

二八日の堅信受領者総会は一五名が参加。教会の今後について話し合う。

